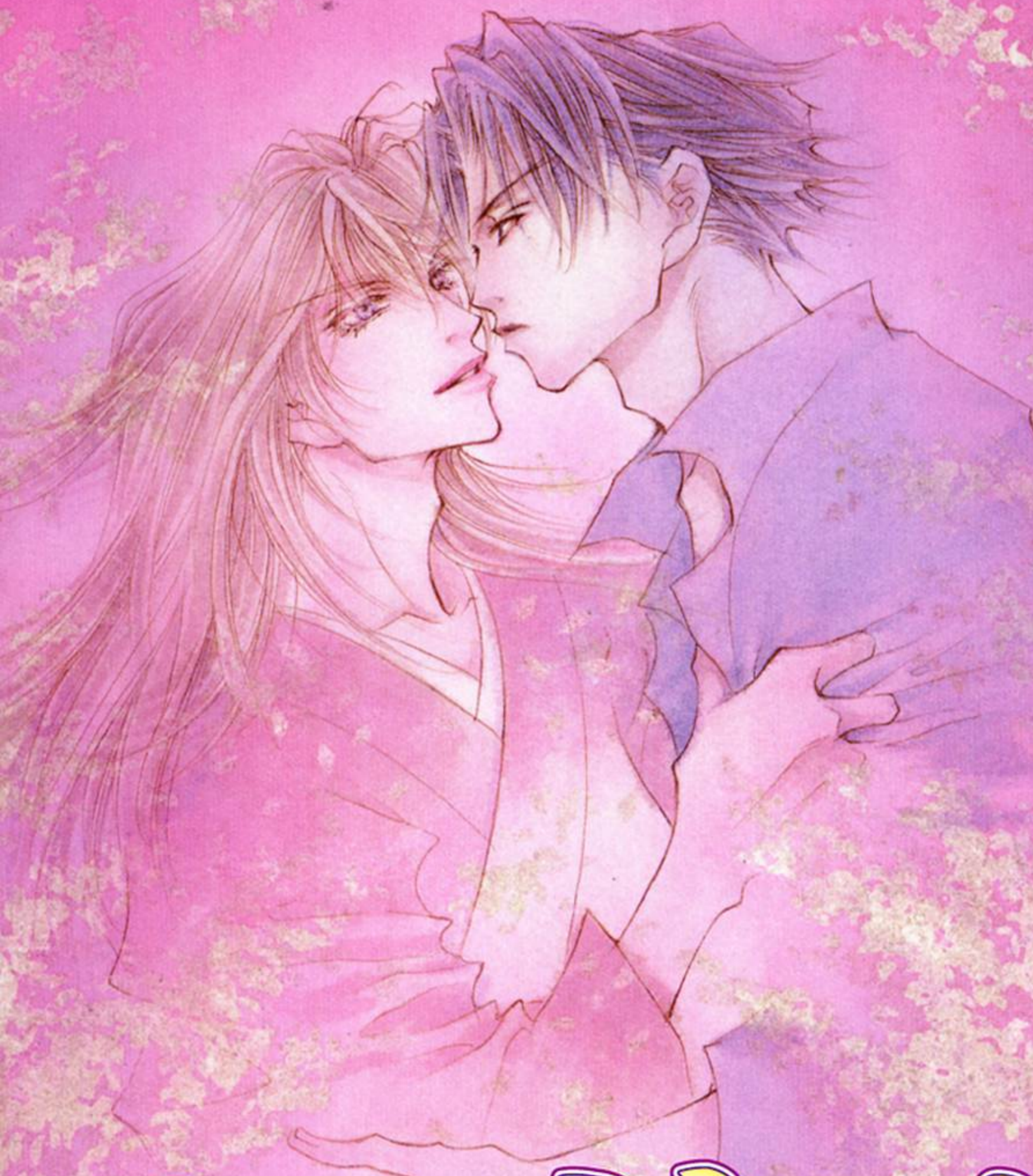


はしだ 由花里



カブキ式

～緋の章～



カブチ

其の四

KABUKI



Presented by
YUKARI HASHIDA

いってらっしゃい

あなたの いる場所に





あなたが目覚める前の
光之介様はあなたとは
正反対でしたからね

たいへんに賢くて

たいへんに奔放で

たいへんに男好き
でしたから

もうイヤだ
外はイヤだ
俺はもう
この家から
一歩も出んぞ!!

ヒキコモリ
引籠りは
シード
衆道より
非社会的な
行為ですよ

おお男が男に
迫るなどなんと
おぞましい

おお男など顔も
見とうない
近寄りたくも
ないわ……!!

失礼します

お前は別だ!

わかっている
だろう
景矢

俺は
お前以外の
者に体を
触れられるのが
イヤなのだ



んっ

でもまだ肝心なところは

無事でしよう

ふ

かげ



接吻すれば
俺の気が
済むと
思っておる
のだろう!?

俺を
単純だと
しか思って
おらぬ
だろう!?

光之介様



お前は
俺を
わかって
おらぬ

吐いたばかりの
あなたに
接吻した
私の勇気も
わかって下さい

骨又キ



あなたこそ

私の事を
何もわかって
おりません

光之介様

おお

もう

よいわ

ここから

出て行って

やる

しばらく

お前の顔など

見とらないわ

引籠りの次は

家出宣言

ですか

お前が
お前が

よいか

本気でここを出るぞ

引き止めるなら

今のうちだぞ

謝るなら今のうち

いってらっしゃいませ

Ⓢ プリーツに打ち水はしません

ああ
そう

先刻玄関に
打ち水を
しましたので
滑らぬ様
注意を



光之介様……………？

なんだ

なんかずっと
真つ暗闇だ

ぼやけている

いいや

なんか

御無事ですか

光之介様



.....

あ〜もう
大丈夫ですよ〜

どうやら
只の脳震盪のうしんどう
でしたしね
腫れもじき
引くでしょう

後々異常が
ありましたら
お知らせ
下さい〜

元から
異常事態
なので
御心配には
及びません

.....ま



待って

なんで僕
ここに居るの？

あんた達
.....誰？



むむ〜

記憶喪失
ですな〜

ここは
あなたの家
ですよ
光之介様

先程家出
なされたまじが

は？

このボロ家は
景矢じいの
家だろう
あんた

そうだ
四郎だ!!

四郎しろう

あ!

誰かと思ったら
あんた
じいの孫だろう!?

名前は
なんてったっけ
えーと
景矢……し……

ふふ

いい男の名前は
憶おぼえているんだ
僕

すごい
久しぶりだね
四郎

ところで
じいさんはどこに
いるのさ

じい？

じい!?

じいは
亡くなり
ました

じい!?

ええ
心臓発作で

そうか……

じゃあお前
僕の家まで
送ってよ

あなたの家も
火事で
無くなりました

かじい!?

ついでに
あなたの財産も
無くなりました

お……

おも
憶いだした
そういうえは

煙が出てきて
まわりが
ぼやけてきて
それで……

あなたは

誰
ですか？

何言ってるの

僕は

くが
久我光之介だよ

ふ

ん

まだよく
わかんないけどさ
つまり僕の意識が
無い間僕の先祖が
この体に乗っ取ってた
ってわけだよな？

いいえ

あなたの御先祖は
あなたの体に
転生したのです

あなた自身は
既に火事で死んで
おられるのです



で

あんたが
僕の新しい
じいってわけ？
四郎

はい

あなたを
涅槃ねはんに御案内
するまで
お世話します



なんやせうきなり
スゲー反応
されてる気が

わーったよ
行くよ

早く車
出してよ

御送迎は
致しません



あ？
学校!?

そのまま
永眠なさると
いうなら
お止めしませんが



ましやーないや
しばらくはこの
ボロ屋敷に
住んでやるよ

僕はもう寝るね
おやすみ――

そろそろ
学校に行く
お時間ですよ
光之介様



マジで!?

先程も
申し上げましたが
あなたの財産は
僅かしか
ないのです

通学に
お金も時間も
使う余裕など
ないのです

と

サイフが
無いんだけど

元から
ありません
金銭を使う際は
まず私に
申し出て
下さい

超マジで!?

とびおと

緊急の為
連絡代は
差し上げましょう

御不満
でしたら
あの世に
お帰り下さい

~~~~~

何だコレ

——オイ

バナナの  
皮ですね

こんなん  
足元にあつたら  
すつ転ぶだろーが!!

転ぶかどうか  
試してみて  
下さい